

『自然と共に、仲間と共に』 ～輝け、魂知和～ 1年生 自然教室

6月23日（月）～27日（金）の4泊5日の日程で、1年生が茶白山に自然教室に行ってきました。梅雨の最中で、天候が心配されましたが、予定されていたすべての行事を行うことができました。5日間での様々な活動、経験を通して学んだことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。

この自然教室で、私は**家族への感謝**と**仲間の大切さ**を自炊から学ぶことができました。私たちは班の6人でご飯を作っても時間がとてもかかるのに、毎日お母さんは一人で作ってくれていて本当に「**ありがとう**」という気持ちでいっぱいです。そして、備品返納では私たちの班が一番に終わりました。それは班の仲間の協力のおかげだと思います。一人だけじゃ絶対にできなかったことだと思います。「**仲間**」の**大切さがわかりました**。本当にこの自然教室で「**ありがとう**」という気持ちがあふれてきました。感謝する気持ちをもつことで、自分自身が成長できた自然教室だったと思います。



1-1

私が自然教室で学んだことは、**仲間の大切さ**です。小学校の自然教室は何となく楽しんで終わりましたが、今回は仲間がいないとやれないことがたくさんありました。

二日目くらいまでは、班の中で「～やってよ。」「何でやってくれないの。」という声が多く聞こえました。でも、三日目くらいからそのような声は少なくなり、「**みんなで協力できているな。**」と感じられてうれしかったです。自然教室で、班やクラスの子たちのよいところや、意外な素顔が見られてよかったです。

私が今、**感謝したい人は「親」**です。家では「～やって。」「～作って。」と言えばすぐにやってくれます。でも、親のいない環境で過ごすことで、**親の大切さやありがたさを実感しました**。私は言葉にするのが苦手なので、「手伝って。」と言われたらすぐに動くなど、**行動で感謝の気持ちを伝えていくつもりです**。これからは、**他の人を思いやり、人のために進んで行動できる人になりたい**と思います。

1-4

実社会に出て学んだ5日間

2年生 職場体験学習

2年生は、6月23日（月）～6月27日（金）まで、96の事業所に分かれて、職場体験学習を行いました。実社会での経験を通して、働くことの意義を考え、また、社会の中で生きるためには、あいさつ、言葉遣い、協調性や責任感が大切であることを感じました。

僕は寿司販売のドングリで働きました。体験前は簡単だろうと思っていたけれど、皿洗いでも、一つ一つの皿の油をきれいにとるなど、大変なことが分かりました。**僕が職場体験で学んだことは働くことの楽しさです**。なぜなら僕は今まで仕事は生活するためにお金を稼ごうと働く場所だと思っていたからです。しかし、最終日に「仕事をしていてよかったことは何ですか」と店長さんに聞いたら、「**お金を稼ぐことではなく、お客さんとコミュニケーションがとれることがうれしい**」とおっしゃっていました。僕は今まで、そんな考えをもったことも無かったので、この職場体験で**働くことの大切さを学ぶことができたように思います**。



2-4

私が結婚式場で働いてみたいと思った理由は全く知らない世界だったからです。私は結婚式に出たことがなく想像もあまりつかなかったので、とても興味がありました。（中略）2日目には前撮り撮影をするカップルの見学をさせていただきました。幸せそうに笑っているお二人を見ていると自分まで幸せな気分になりました。あるスタッフさんに「なぜこの仕事に就いたのですか。」と聞いてみると、「**幸せな人が来るところで働いたら、自分も幸せな気分になれるから。**」と答えていただきましたが、それを実感した見学時間でした。

しかし、そんな楽しいことばかりではなく、掃除や食器洗い、資料作りなど小さな地味な仕事もありました。そんなときにスタッフさんから「**小さな仕事でもいねいにミスなくやらないと大きなミスになる。**」と教わりました。結婚式場という**華やかな場所でもたくさんの努力があっ**てできていると思えました。

2-3